

1 青少年支援活動報告

(1) 青少年対策地区委員会年間活動

青少年対策大森東地区委員会

■会長挨拶

今年度の活動はほぼコロナ禍前の活動ができたと思います。
4月のガーデンパーティーでは、久しぶりにポン菓子できました。
天気にも恵まれ、多くの人が訪れていました。

また、今年のジュニアリーダー講習会の幹事地区でしたが、
コロナ禍を乗り越えて、ほぼ以前の活動ができたと思います。

しかし、内情はといえば、コロナ禍の影響でリーダーさんが
ほとんどいません。バスハイクのスポットリーダーを各中学に
お願い・募集したところ、8名の中学生がきてくれました。

また、以前は、PTA会長さんたちの参加がよくなかったり、
会長さんが居ない時期もありましたが、今年度の会長さんたちは
参加もよく積極的で今後が楽しみです。

こども達の笑顔のために皆さんと一緒に頑張りましょう。



青少年対策大森東地区委員会

会長 伊藤 音嗣

■目標

大森東地区青少対活動の基本目標

- 人の痛みがわかる思いやりのある子を育てる
- 自分の考えをしっかりと持ち、善悪の判断ができる子を育てる
- 健康で夢や希望に向かって進める子を育てる
- 明るく元気で素直な自分の行動に責任の持てる子を育てる
- 団体活動に積極的に参加できる子を育てる

以上を目標に青少年健全育成活動を進めて参ります

■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
4月28日(日)	ガーデンパーティー平和島会場 ブース出店	845人
5月25日(土)	リーダー講習会激励会	23人
6月9日(日)	リーダー講習会開講式 大森東地区担当回	148人
6月19日(水)	感謝状贈呈式・新旧委員懇親会	25人
7月1日(月)	広報紙「青少対大森東だより」発行	4,500部
8月24日(土)	リーダー講習会 大森東地区担当回	138人
10月12日(土)	秋のバスハイク	44人
10月20日(日)	いつつのわふれあい祭り ブース出店	439人
10月24日(木)	地域懇談会	27人
11月2日(土)・3日(日)	OTAふれあいフェスタ ブース出店	1,738人
12月8日(日)	リーダー講習会閉講式 大森東地区担当回	138人

12月8日（日）	リーダー講習会反省会・お楽しみ会	19人
3月9日（日）	春バスハイク	131名
奇数月	役員定例会	

■振り返り

【秋のバスハイク】

今年度は、児童28名・保護者7名と初の保護者参加型でのバスハイクを実施いたしました。

行先は、羽田空港にある「JAL SKY MUSEUM」、墨田区の「本所防災館」です。

「JAL SKY MUSEUM」では、機体整備工場見学や制服体験など、普段ではできない体験にうれしそうな様子が見受けられました。

「本所防災館」では、自然災害をリアルに体験し、親子で災害について学ぶことができました。

参加者にとってアンケートでは、参加者のほとんどが「楽しかった」と回答してくれました。また、その他にも「防災館がすごく勉強になりました」と回答してくれた参加者もあり、バスハイクを通じて「防災」について考えていただくいい機会となりました。



【地域懇談会】

「こどもの自己肯定感を高める指導」をテーマに、大森第四小学校の長町正弘校長先生から、大森第四小学校の現状や教育の様子を踏まえてご講演いただきました。

その後、講演いただいた内容について地域はどう取り組んでいくべきか、各グループに分かれて話し合っていました。

参加者からは、「子ども達にもっと心を向けていきたい」「地域みんなで子どもを見守り、声掛けが必要」などといった感想が挙げられました。



青少年対策大森西地区委員会

■会長挨拶

大森西地区は21の自治会・町会や、学校、PTAをはじめ地域の諸団体からの委員で、育成部・地域交流部・広報学習部の3部を構成して活動をしています。春の子ども体験ツアーや秋のバスハイクは、“自然に触れる”、“体験して学ぶ”、“他校の児童との交流”を目的として力を入れてきました。また、令和7年度から小中学校で“コミュニティースクール”が始まるため、今後は新たな取り組みにも力を入れていきたいです。青少年対策大森西地区委員会これからもこどもたちの笑顔、健やかな成長のために、取り組んでまいります。皆さまのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



会長 田中 清一

■目標

「たくさんの 笑顔あふれる 大森西」

■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
5/26	子ども体験ツアー（多摩六都科学館）	35人
7/7	大森地域リーダー講習会 大森西担当会	約80人
7月、8月	管内小学校 サマースクール（パラコード編み）	総勢40人
9/23	秋のバスハイク（芋ほり）	56人
10/27	小学生の交流会（ピザ作り、モルック体験）	30人
11/2～11/3	OTAふれあいフェスタ 手作りコーナー（アルミ缶プレート、紙コプター）	約500人
11/13	委員研修会	30人
12/8	リーダー講習会終了後 参加者との懇談会	24人
12/22	ジュニアリーダークラブ クリスマス会	25人
2/9	委員日帰り研修（施設見学：館山さざなみ学校）	22人
2/22～2/24	ジュニアリーダー スキー宿泊研修	17人
	定例会 毎月（8月、1月除く）	
	ジュニアリーダークラブ 定例会	
4月、10月	広報紙発行	

■子ども体験ツアー 令和6年5月26日

管内の小学生、ジュニアリーダーと西東京市にある多摩六都科学館へ行き、科学体験とプラネタリウム鑑賞をしました。特にムーンウォーカーという月面重力を体験できる機械がこどもたちに大人気でした。また、プラネタリウムはかなり迫力があり、圧倒されるほどでした。こどもたちは様々なことを体験し、学びながら楽しんでおりました。



■秋のバスハイク 令和6年9月23日



皆で一台のバスに乗り、静岡県御殿場市で芋ほり体験をしに行きました。普段できないような体験にこどもたちは夢中になっており、服の汚れにも構わず一生懸命に芋を掘り続けておりました。こどもたちは芋を掘る楽しさと大変さを感じるとともに農家の方に感謝と尊敬も感じた1日でした。芋は持ち帰ることができ、各自おいしくいただきました。

■小学生の交流会 令和6年10月27日

平和島公園キャンプ場でモルック体験とピザ作りをしました。ジュニアリーダーと協力しながら生地からピザをつくり、盛り付けまで各自で行いました。出来立てのピザはおいしく、達成感も味わうことができました。モルック体験が初めての児童がいましたが、徐々にコツを掴み楽しく考えながら参加しておりました。



■OTA ふれあいフェスタ 2024 令和6年11月2日・3日



缶プレート、紙コプター、とん汁、いそべ餅を提供しました。一日目はあいにくの雨でしたが、二日目は晴れになり、総勢 500 人以上の参加者に楽しんでもらうことができました。中でも缶プレートはこどもたちに大人気で、オリジナルの缶プレートを作ろうと、一生懸命に作成しておりました。またとん汁、いそべ餅も人気で多くのかたに提供することができました。

■振り返り

昨年に引き続き出先での被災や過度の交通渋滞等を想定し、非常食（クラッカー等）、水、携帯トイレを備えて持参しております。バスで遠出をする際は、防災関連のDVDを流し、こどもたちに防災時の命を守る行動や備蓄など、防災に関することについて学ぶ機会を提供しております。引き続き続けていきたいと思っております。

青少年対策入新井地区委員会

■会長挨拶

令和6年度は、厳しい夏の暑さを避けるため、内容の一部変更を余儀なくされることもありましたが、概ね当初の計画通りに実施する事ができました。5年ぶりに開催されたガーデンパーティー（平和島会場）は、予想を超えた来場者で、大盛況の内に終えることができました。また、10月のデイキャンプでは昨年につき、国際都市おおた大使（中国、韓国、ネパール各国）にご参加頂き、国際交流の場としても意義ある行事となりました。12月1日には入新井地区に複合施設「スマイル大森」がオープンしました。多目的ホールも併設されており、天候に左右されることなく計画通りに実施できる活動環境に、大いに期待が持てます。引き続きご支援の程、よろしくお願いいたします。



青少年対策入新井地区委員会
会長 波岡 邦典

■目標

**一人でも多くの子ども達の参加を呼びかけ、
活気のある環境づくりを目指す**

■年間活動報告

月 日	活動名	参加人数
5月5日	農業生産体験活動（田植え）	60名
5月23日	第1回理事会 及び 総会	理事会 35名 総会 49名
5月26日	リーダー講習会 受講生及び保護者説明会	47名
6月6日	第1回PTAとの懇談会	30名
6月9日～12月8日	大森地区リーダー講習会	188名
7月17日	第74回“社会を明るくする運動”入新井地区集会	112名
7月20日・21日	入新井盆踊り大会 （ポップコーン作りで協力）	619人
9月8日	農業生産体験活動（稲刈り）	54名
9月15日・16日・23日	第47回大森四地区少年野球大会	計16チーム 参加
10月2日	入新井地区デイキャンプ実行委員会	24名
10月13日	入新井地区デイキャンプ	63名
10月24日	OTAふれあいフェスタ打合せ会	53名
11月2日・3日	OTAふれあいフェスタ2024 入新井青少対コーナー	2,627名
12月8日	入新井地区リーダーとの交流会	34名
12月13日	第2回理事会	23名

1月22日	広報誌編集会議	11名
2月12日	第2回PTAとの懇談会	28名
3月7日	第3回理事会	21名
3月7日	広報誌「入新井青少対だより」第37号発行	4,300部発行
3月23日	バスハイク	97名

■振り返り

◎農業生産体験活動 田植え 令和6年5月5日(日)／稲刈り 令和6年9月8日(日)

千葉県南房総市大井の「いきいき体験共和国」にて、田植え体験と稲刈り体験を実施しました。小学校3校の児童、PTA、大森警察署、青少対委員等で参加しました。実際に農作業を体験して普段食べているお米ができる過程を学ぶことで、「食」のありがたみを感じることができました。また参加された大森警察署の方から、特殊詐欺などに注意するよう、ありがたい特別講義も行われ、子ども達も改めて身を引き締めているようでした。



◎バスハイク 令和6年3月24日(日) ※令和5年度事業



茨城県かすみがうら市の「すずめっこ森 マルヤ観光農園」と茨城県坂東市の「ミュージアムパーク茨城県自然博物館」にて、バスハイクを実施しました。小学校4校の児童、PTA、ジュニアリーダー、青少対委員で参加しました。いちご狩りや、恐竜、宇宙、鉱物や生物等、様々な展示を見学、体験することで、自然とのかわりや、共生の大切さを学ぶことができました。

◎入新井地区デイキャンプ 令和6年10月13日(日)

平和島公園キャンプ場にて、デイキャンプを実施しました。小学校4校の児童の他、今回はゲストとして、国際都市おおた大使が3名参加してくれました。国籍は韓国1名、中国1名、ネパール1名と国際色豊かなイベントになりました。午前中は大使と一緒にカレーを作って交流を図り、午後からはペットボトルロケットを飛ばして飛距離を競ったり、外国の遊びを体験しました。子ども達も様々な国籍の外国人と交流することで、より外国人や異文化を身近に感じる事ができたようでした。



■次年度に向けて

PTAの皆さま方との意見交換の場を多く設定し、様々な世代の方々からの活発な意見やアイデアを参考にし、より充実した活動内容になるよう取り組みたいと考えています。

青少年対策馬込地区委員会

■ 会長挨拶

青少年対策馬込地区委員会は、自治会・町会・学校・PTA・地域の皆様と連携し地域に根付いた子どもたちを育成することを目標に活動しております。

今年度は、新型コロナウイルスが五類に移行され1年が過ぎ各行事はコロナ禍以前のように開催していくことができました。5年ぶりに開催されたガーデンパーティーでは参加した子どもたちは笑顔があふれ、委員さんも喜んで活動をしていました。

今後馬込地区としては子どもたちが増えていることと夏の暑さ対策等を考え行事の会場・開催方法等を検討して行きたいと思っております。

日頃からご協力を頂いております自治会・町会・学校・PTA・地域の皆様に深く感謝申し上げます。これからも地域に密着して、子どもたちの笑顔あふれる活動を展開してまいります。

ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



青少年対策馬込地区委員会
会長 鈴木 正

■ 目標

- ・地域の子どもたちの安心安全
- ・地域に根差した青少年の育成

■ 年間活動報告

実施月日	活動名	参加人数
4月18日	自治会・町会長との合同研修会	44名
5月24日	総会	45名
7月10日	広報誌「きずな」第50号発刊	
7月12日	新旧委員交歓会	35名
8月18日	第44回少年野球大会	342名
8月25日	第50回ソフトボール大会	110名
9月22日	大森地域リーダー講習会（馬込担当回）	約100名
10月13日	ジュニアリーダークラブ 秋の研修会	約30名
10月27日	第30回小学生ドッジボール大会	344名
10月29日	中学生育成行事 講演会第1回	38名
11月30日	ポッチャ体験会	33名
1月14日	新年懇親会	36名
2月16日	馬込地区5道場剣道大会	130名
3月11日	中学生育成行事 講演会第2回目	23名
通年	馬込ジュニアリーダークラブ	
通年	馬込青少剣道部	
通年	小学校別行事（PTA主催）	

■ ふりかえり

馬込青少対では、小学生を対象とした行事を開催する「少年部」、中学生以上を対象とした行事を開催する「青年部」、中学生以上のリーダーを育成する活動をする「ジュニアリーダー部」に別れて様々な活動を行っております。今年開催した代表的な行事を紹介いたします。

◎ 少年部：第30回小学生ドッジボール大会 10月27日（日）

馬込地区の4つの小学校（4～6年生）を対象に、344名の児童が参加してのドッジボール大会を馬込中学校で開催しました。

ドッジボールは子どもたちにとっては大変親しみあるスポーツでもあり、大会に向けて先生や保護者の協力のもと個々の練習のほかにも、チームでの練習にも励んでいました。そのため、個々の力だけでなくチームワークも完成された良いチームが多くみられました。また、ひとつの試合が終わるごとに、歓喜の声や悔しさに涙する姿が見られ、子どもたちの大会への想いが伝わってきました。

今年は大会のオンライン配信を行い、会場に来られない保護者の方も子どもたちの雄姿を見ることができたとご好評いただきました。

大会運営ではPTAの皆様をはじめ、桜台高校や立正高校の生徒さんにもボランティアとして支えていただき、無事に開催することができました。



◎ 青年部：中学生育成行事 講演会（全2回） 10月29日（火）・3月11日（火）



青年部では、小・中学生の保護者をメイン対象に、講演会を実施しました。講演会は全2回実施し、1回目は大田区教育委員会にもご協力いただき「おおた教育ビジョン」についての説明をしていただいたほか、講師の河合良治氏に「進路指導」や「受験」についてお話しいただきました。

また2回目では主に「今を生きるあなたへ」というテーマで講師の宗藤純子氏に子どもとの対話などについてお話しいただきました。

会場とWeb配信のハイブリッドで実施しましたが、参加者の方々も講師の方々のお話を真剣な表情で聞き入っている様子で、質問が会場・Web問わず多く飛び交いました。

◎ ジュニアリーダー部：秋の研修会 10月13日（日）

馬込ジュニアリーダークラブの受講生を招待して秋の研修会を開催しました。

今年はつくし野フィールドアスレチックを会場として、リーダーたちはフィールドアスレチックを楽しみながらも、今後の活動のためにレクリエーション研修などの活動もしっかりと実施しました。

お昼のバーベキューでは、リーダーたちの楽しそうな姿を見ることができ、親睦を深められたのがよくわかりました。

とても楽しくも有意義な一日となりました。



◎ 特別行事：ボッチャ体験会 11月30日（土）



今年度の特別行事では馬込地区の小学生とその保護者を対象に「ボッチャ体験会」を実施しました。

馬込青少対では初の試みとなるボッチャの体験会でしたが、スポーツ推進委員さんにお手伝いいただきながら開催することができました。

当日は最初に練習を行い、その後にチームごとにトーナメント形式での試合を実施しました。青少対委員もチームで参加し、年代問わずにボッチャを楽しみました。

参加者の方からは「ボッチャは初めてでしたが、親子や子ども同士の交遊の場となった」などにご好評いただきました。

青少年対策池上地区委員会

■会長挨拶

平素より青少年対策池上地区委員会にご理解、ご協力を賜りありがとうございます。今年度はコロナ禍以降中止が続いていた「ガーデンパーティー」を、池上会館周辺に会場を移してようやく開催することができました。暑い中でしたが、地域の方々の力をお借りして盛大に執り行うことが出来ました。

また、小学5・6年生対象の大森地域リーダー講習会、スポーツまつりの一環で行われたボッチャ交流会、地域ふれあいコンサート等を委員の皆さんとジュニアリーダーの力を集結する事で、参加された大勢の方の喜ぶ顔を見ることができました。今後も地域の笑顔のために委員一同頑張っていきます。



青少年対策
池上地区委員会
会長 秋庭 寿栄

■目標

「地域で育む、地域の宝」

■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
5月9日	ジュニア・リーダー・クラブ総会	12人
5月21日	理事会	13人
6月7日	総会	23人
8月25日	参加行事／池上まつり	13人
9月1日	ジュニア・リーダー・クラブ研修会	25人
9月9、25日	池上プラネタリウム教室	278人
9月28日	後援事業／池小フェスタ	409人
10月20日	池上スポーツまつり	145人
10月26日	後援事業／池二小こどもフリマ・映写の夕べ	494人
11月3日	地域ふれあいコンサート	885人
11月23日	参加行事／いけいけハートフルフェスタ	9人
12月18日	理事会	15人
12月22日	ジュニア・リーダー・クラブ交流会	19人
1月23日	新年懇談会	33人
1月	広報誌「青少対いけがみ」発行	7,000部
2月11日	ジュニア・リーダー・クラブ バスハイク	42人

■振り返り

◎池上プラネタリウム教室 令和6年9月9日(月)、25日(水) 場所 池上会館

池上地区内全小学校の4年生を対象にプラネタリウム教室を開催しました。児童は実際の星空を再現したドーム内で、見事に映し出された星空を見上げながら、教室で学んだ星座を探す活動を楽しみました。星座の名称や位置、季節ごとの変化を視覚的に体験することで、授業で学んだ内容をより深められる良い機会になりました。



◎池上スポーツまつり 令和6年10月20日(日) 場所 池上小学校



区民スポーツまつりの一環として、今年度もボッチャ交流会を開催しました。地区内3小学校の親子や自治会・町会、ジュニアリーダーなど145名が参加しました。普段交流する機会が少ない多世代間の方々が交流し、地域の絆を深める機会となりました。

◎地域ふれあいコンサート 令和6年11月3日(日・祝) 場所 池上会館

地域の方たちが、音楽を通してこどもたちとの交流を図ることを目的として、地域ふれあいコンサートを実施しました。出演者282名、来場者500名以上と、多くの方にご参加いただき大盛況でした。最後は全員で「マツケンサンバⅡ」を合唱し、老若男女問わず、音楽を通して会場が一体になることを実感できました。



◎池上ジュニアリーダークラブ



中学生から大学生までの23名が、行事の企画、運営などを行い、地域のこどもたちのリーダーとして活動しています。

《研修会》小学生の参加者を募集し、レクリエーション研修を行いました

《交流会》小学生を招いて料理やレク、プレゼント交換などを行いました。

《バスハイク》小学生の参加者を募集し、いちご狩りと博物館見学に行きました。

青少年対策新井宿地区委員会

■会長挨拶

新井宿地区は8つの自治会・町会があり、とても家族的な雰囲気を持ち、何かとまとまりやすいところです。

その中で新井宿青少対は、「青少年の健全育成」を目的に、地域力推進の一翼を担っております。年間を通して数々のふれあいや様々な体験の中で、こどもたちが心と体を健全で豊かにしてくれることを願っています。

とりわけ、こどもたちに大人気の事業「農業体験」、「地区スポーツの集い」には力を注いでいます。

こどもたちが楽しみながら健やかに成長する支援を、今後も精力的に行っていききたいと思います。



青少年対策新井宿地区委員会

会長 和田 芳明

■目標

新井宿の地域に子どもたちの元気な声が飛び交う、それを取りまく大人たちの温かい眼差しが子どもを守る

■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
4月16日	理事会〈新井宿特別出張所〉	17人
5月21日	総会〈新井宿特別出張所〉	36人
5月12日 9月1日	農業体験学習 田植え、稲刈り〈千葉県南房総市〉	54人
7月1日	広報誌発行	—
10月6日	デイキャンプ〈ゆいっつ・平和島公園キャンプ場〉【試行】	49人
11月10日	ドッジボール大会〈大森第三中学校〉	71人
令和7年 2月2日	落語を聞く会〈大田文化の森〉	39人
令和7年 2月7日	地区集会〈新井宿特別出張所〉	41人
令和7年 2月9日	ソフトボール教室〈大森第三中学校〉	67人
令和7年 2月16日	委員研修〈そなエリア東京 他〉	21人
奇数月	定例会〈新井宿特別出張所〉	56人

◎地区スポーツの集い「ドッジボール大会」 11月10日（日）

〈大森第三中学校 体育館〉

新井宿地区管内3つの小学校から児童71名が参加しました。

高学年（3チーム）と低学年（7チーム）に分かれリーグ戦を行い白熱した試合を繰り広げました。試合後には高学年の優勝チーム、低学年の1～3位のチーム、MVP、努力賞の選手の表彰を行いました。



◎落語を聞く会 令和7年2月2日（日） 〈大田文化の森〉

こどもたちに日本の古典芸能を体験してもらうことを目的に、「落語を聞く会」を実施し、児童・保護者ら39名の参加がありました。

当日は、新井宿地区在住の落語家の方に高座を行っていただき、落語を聞くだけでなく、落語に関する様々な知識を教えていただくことができました。実際に高座にあがり落語体験をさせていただくこともできました。

質疑応答では、参加したこどもたちからの様々な質問を通して、楽しく交流をすることができ、身近にわかりやすく落語について学び、日本の古典芸能を体験する貴重な機会となりました。



青少年対策嶺町地区委員会

■会長挨拶

嶺町地区では、さまざまな活動を行っています。木工教室では親子で協力して作品を作り、夏休みの宿題として提出されることもあります。夏まつりでは会場内に子ども達の元気な声が響き渡り、明るく楽しそうな姿が印象的でした。デイキャンプでは皆で協力しておいしいカレーを完成させ楽しく味わいました。さらにクイズラリーでは、地域の魅力を発見する良い機会となりました。

今後も子どもたちが笑顔で安心して行事に参加できるよう、自治会町会・各学校 PTA・地域の方々のご協力をいただきながら、地域に根ざした活動を進めていきたいと考えています。



青少年対策嶺町地区委員会

会長 相原 彌津枝

■目標

地域に在住・在学する子どもを対象に、地域内の結束力の向上及び親子間の絆を深めることを目標とし、子どもたちが楽しめるような行事を行う。

■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
7月28日	みねまち親子木工教室	親子 45 組
8月25日	子ども夏まつり	928 人
10月6日	デイキャンプ	小学生 他 113 人
2月8日	委員研修会 ANA Blue Hangar Tour	委員 14 名
2月10日～16日	ぐるっと5町会！みねまちクイズラリー	515 人
3月31日	広報誌「嶺風」26号発行	4,600 部



デイキャンプにて
(ソレイユの丘)
令和6年10月6日

■振り返り

【みねまち親子木工教室】

22回目を迎えた令和6年度は「ファミリーラック」を製作しました。こどもたちはお父さんやお母さんと一緒に、東調布建築組合の方の説明を真剣に聞きながら一生懸命取り組んでいました。

板の切断や釘打ちなど難しい部分が多く、こどもたちは苦戦しながらも、親子で協力して製作していました。作品を完成させたこどもたちの姿は達成感に満ち溢れていました。

自宅で色を塗ったりして、自分だけのオリジナル作品にして夏休みの自由研究作品として提出するこどももいるそうです。



【子ども夏まつり】

毎年恒例のかき氷やすいか割り、水鉄砲射的の他さまざまなゲームコーナーや手作りコーナー、警察・消防コーナーがあり、どのコーナーもたくさんのこどもたちが楽しんでいました。ジュニアリーダーによるおぼけやしきは今年も大人気で、入り口には長蛇の列ができていました。

天候に恵まれたなかでの開催となり、多くのこどもたちが来場し会場は大いに賑わっていました。

参加されたこどもたちにとって夏休みの思い出となる充実のイベントとなりました。



【デイキャンプ】

神奈川県にある「ソレイユの丘」を訪れ飯ごう炊きでカレー作りを行いました。

カレー作りでは、班のメンバーと協力しながら火おこしから調理までを行いました。どの班も非常に出来栄がよく、何度もおかわりするこどももありました。カレーを食べた後は、ジュニアリーダーとレクリエーションをして楽しいひと時を過ごしました。

また、バスの車内ではジュニアリーダーによるバスレクが行われ、ゲームや歌などを楽しみ、笑顔の絶えない一日となりました。



青少年対策田園調布地区委員会

■会長挨拶

平素は青少対活動にご支援、ご協力頂き誠にありがとうございます。
昨年 11 月に待望の体育施設が完成しました。

これは地域の皆様、特に歴代自治会長様達の御努力により実現したものです。
青少対では早速 12 月 22 日に「青少対まつり」で使わせて頂き、
バスケットボールとポッチャの体験イベントで盛り上がりました。

また「はねぴょん」も参加して Jr. リーダー達と一緒にせせらぎ館を回って、
こどもたちに大人気でした。

これからも地域の皆様の応援を力にして、
こどもたちのために進んでいきたいと思っています。



青少年対策田園調布地区委員会
会長 齊藤 一郎

■目標

「子どもたちのために今できることを！」

■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
6 月	ジュニアリーダー新人歓迎会 & バルーンアート教室	20 名
7 月	広報誌「田園調布だより No. 41」発行	
7 月	田園調布小学校わくわくスクール 調布大塚小学校お楽しみ教室	100 名
9 月	ポッチャ講習会	18 名
12 月	青少対まつり	300 名
1 月	渡辺みどり先生講演会	80 名
3 月	バスツアー 房総半島日帰り	100 名
3 月	青少年表彰式	10 名

■振り返り

○ジュニアリーダーボッチャ講習会（9/28）

12月の青少対まつり「ボッチャコーナー」に向けてリーダー一同、スポーツ推進委員でもある西山さん、嶋崎さんにボッチャ講習会をお願いしました。

リーダー19名、青少対委員6名、事務局2名が参加。ルール、戦略のレクチャーを受けたあと、チームに分かれて総当たり戦を行いました。初めてボッチャにふれるメンバーも多く、チームごとに相談しながら真剣に作戦を練り、大いに盛り上がりました。



○青少対まつり（12/22）

せせらぎ公園、せせらぎ館、新しくできた体育施設で3回目となる「青少対まつり」をおこないました。

体育施設でバスケ、ボッチャ体験コーナーを、多目的室では手作りコーナー（ビーズでミニツリー、毛糸でミニ帽子、キャンディーレイ、バルーンアート）全エリアを使っの謎解きコーナーを開催しました

はねぴょんも遊びに来てくれて、リーダー達はもちろん、小さいこども達にも大人気でした。



○渡辺みどり先生講演会（1/19）

日本こどもフィットネス協会代表理事渡辺みどり先生をお迎えし、せせらぎ館多目的室にて講演会を開催しました。

健康と運動に関する知識を〇×クイズ形式で学んだあと、親子でフィットネス！ボールや大きい布を使い、最後はアンパンマン体操を全員で楽しく踊りました。大人もこどもも一緒に汗をかきながら、笑顔満載、楽しいひと時になりました！



青少年対策鵜の木地区委員会

■会長挨拶

通称『青少対』とは地域の子ども達に居場所を作ること为主要目的として活動しています。スローガンは『こどもの活躍する機会をより多く提供する鵜の木青少対』です。その為に、地域の方々にご理解とご支援いただきながら、継続的に続けて行かなければなりません。活動の担い手の高齢化が進んでいる昨今ですが、少しずつ、若い方もお手伝いいただいています。ご興味のある方は町会の方を通して青少対の役員にお声がけいただければ、どなたでもお手伝いいただけますので、気軽に一声かけていただきたいと思います。



青少年対策鵜の木地区委員会

会長 近藤 好秀

子どもを取り巻く環境は厳しくなりましたが、子どもが持つ笑顔の力は変わらず素晴らしいものがあります。大切に守りたいもののひとつではないでしょうか。

■目標

「こどもの活躍する機会をより多く提供する 鵜の木青少対」

■年間活動報告

月 日	行事名	月 日	行事名
5/11	ジュニアリーダー・高学年会 「今後の活動について」	9/29	バスハイク
5/30	理事会・総会	10/27	第28回鵜の木地区連合運動会
6/8	講演会・フラワーアレンジメント	11/30 12/1	嶺町文化センターまつり (青少対活動パネル出展)
6/23	こちらこどもクラブ 「タコ焼きパーティー」	12/11	理事会
7/27	夏休み子ども会【千鳥小学校】	1/19	こちらこどもクラブ 「ポップコーン作り&映画館ごっこ」
8/10 8/11	ジュニアリーダー・高学年会 「お祭りリハーサル・仕入れ」	2/19	新春懇親会
8/24	夏休み子ども会【東調布第三小学校】	2/22	鵜の木地区ミニバスケットボール大会
8/24 8/25	ジュニアリーダー・高学年会 「お祭り出店(こどもゲームセンター)」	2/23	こちらこどもクラブ 「もちつき大会参加」
8/25	夏休み子ども会【嶺町小学校】	3月	広報誌「うのき」発行

■振り返り

◎第28回鵜の木地区連合運動会

おっかけ玉入れや町会対抗競技をはじめとした10種類の競技に加え、お昼休みには東京高校のチアリーディング部の演技と吹奏楽部の演奏や、町会太鼓の演奏も行われました。

さらに今年は、パン喰い競争も行い、朝からたくさんの方々が来場されました。

大森第七中学校のボランティア生徒の皆さんにも活躍いただき、その熱心な働きぶりに運営スタッフの皆様も感嘆した様子でした。

町会、学校関係者、実行委員など多くの方のご協力により、小さなお子さんから大人まで全力で楽しんで参加していました。すべての競技で参加者が楽しむ様子がうかがえました。



◎バスハイク

鵜の木地区管内3小学校の児童を対象に、バスハイクを行いました。東京都江東区にある水の科学館、港区にあるみなと科学館、気象科学館、東京タワーへ行ってきました。3つの科学館を見学し参加された児童たちは楽しそうに展示を眺め、科学館ならではの貴重な体験をしていました。

今回訪れた場所の思い出だけでなく、班ごとの仲も深まったイベントとなりました。



◎こちらこどもクラブ

こちらこどもクラブは、ジュニアリーダーの育成を目的として、青少年対策鵜の木地区委員会が運営する希望加入制の地域子ども会です。対象は小学1年生から中学・高校・大学生までで、誰でも参加できます。

今年度は、タコ焼きパーティーやポップコーン作り&映画館ごっこなど、通常の子ども会活動のほか、ジュニア&高学年会で恒例の千鳥町お祭り出店を2日間行いました。



青少年対策久が原地区委員会

■会長挨拶

令和6年度は久が原出身で大学時代（現在24歳）にショパン国際ピアノコンクールアジア大会で優勝した西尾 翔登さんにクラシックコンサートをお願いしました。200名近くの応募があり、こどもたちがおとなしく聴いてくれるか心配でしたが、迫力ある演奏でこどもも大人も感動しました。



また、2月にもちつき大会を実施しました。300名以上の方にご参加いただき、皆さんとお雑煮を食べて楽しみました。

青少年対策久が原地区委員会
会長 種田 なおみ

■目標

青少対事業を通して、地域の子供たちに自主性、想像力、冒険心を養わせ、また、人とのかかわりを学ぶ中で、協調心、忍耐力、他人を思いやる心を育てていく。

■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
4 月	広報誌「けやき」発行	
4 月 28 日	大田区子どもガーデンパーティー(洗足池会場)	7,861 名
5 月 14 日	理事会	14 名
5 月 27 日	総会	32 名
7 月 22 日 ～26 日	夏休みラジオ体操(久原小・松仙小)	参加者多数
7 月 27 日	松仙小 夏休みワクワクスクール	32 名
8 月 3 日	久原小 夏休みドキドキ学校	31 名
8 月 18 日 ～19 日	夏休み宿泊体験バスツアー	43 名
8 月 24 日	久が原児童館なつまつり	参加者多数
10 月 20 日	ふれあい久が原大運動会	1,266 名
12 月 15 日	西尾 翔登さんのピアノコンサート	156 名
2 月 2 日	もちつき大会	340 名
2 月 9 日	バスハイク（いちご狩り、ピザ作り）	55 名
3 月 7 日	三木 サトルさんのオーボエコンサート	参加者多数
通年	全体会(年11回) 久が原地区ジュニアリーダークラブの活動 (毎月1回の定例会と地域行事のボランティア)	

■振り返り

夏休み宿泊体験バスツアー

昨年度に引き続き、8月に2日間の日程で開催しました。

今年度は千葉県立鴨川青少年自然の家でキャンプファイヤーを体験し、また、鴨川シーワールドで海の生き物についてたくさん学びました。

みんなで協力し合いながら、夏休みの楽しい思い出を作ることができました。



バスハイク

2月に横須賀でいちご狩りとピザ作り・遊具体験を行いました。

まずは津久井浜観光農園でいちご狩りを行いました。その後、ソレイユの丘でピザを作り、昼食として自分の作ったピザをそれぞれ食べました。昼食後は班ごとにソレイユの丘にある遊具を体験しました。

6年ぶりの開催でしたが、天候にも恵まれ、楽しく過ごすことができました。



青少年対策雪谷地区委員会

■会長挨拶

雪谷青少対は、自治会、小・中学校、PTA、民生委員、保護司などから選ばれた61名の委員で構成されており、こどもたちが健やかに思いやりをもって成長していけるような環境をつくるため、地区全体で力を合わせて活動しています。

今後も地域の皆様のご理解・ご協力をいただきながら、青少対活動を通し、雪谷地区を盛り上げていきたいと考えております。



青少年対策雪谷地区委員会
会長 石垣 晴子

■目標

「地域の活性化に向けた青少年の育成」

① 子ども会づくりの推進 ②地域青少年の体力づくりの推進 ③地域環境浄化の推進

■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
4月12日	役員会	15人
4月28日	第73回大田区子どもガーデンパーティー	7,861人
5月5日	第42回野球大会	70人
5月17日	総会・懇親会	53人
6月3日	雪谷青少対だより「ゆきがや」発行	2400部
6月14日	全体会	36人
7月20日	洗足池ホタル観賞会	2,524人
8月25日 ～26日	子ども夏のつどい	69人
10月20日	第32回雪谷地区9自治会スポーツまつり	920人
11月9日	研修部施設見学会	15人
11月12日	役員会	13人
11月23日	第31回サッカー大会	80人
12月3日	全体会	35人
1月31日	新年会	55人
2月7日	役員会	12人
3月14日	全体会	33人

■振り返り

【第 73 回大田区子どもガーデンパーティー洗足池会場】 令和 6 年 4 月 28 日（日）

雪谷青少対・久が原青少対・千束青少対と合同で、洗足池公園にて第 73 回大田区子どもガーデンパーティーを実施しました。5 年ぶりの開催となった今年度は、天候にも恵まれ、手作りのアスレチックコーナーをはじめ、様々な地域団体による各コーナー也大盛況でした。こどもから大人まで楽しめる素敵なイベントになりました。



【第 42 回雪谷地区野球大会】

令和 6 年 5 月 5 日（日）

雪谷地区の野球チーム（池雪ジュニアストロング・小池アンタレス・雪谷スターズ）が参加する野球大会を開催しました。晴天の中、一生懸命試合に臨み、お互いに交流を深める素敵な大会になりました。

【ゆきがや子ども夏のつどい】 令和 6 年 8 月 25 日（日）～26 日（月）

埼玉県立名栗元気プラザにて、ゆきがや子ども夏のつどいを開催しました。

今年度は、小学校 3 年生～6 年生までの 34 名が参加しました。ジュニアリーダーを中心に、初日は室内でのモルック大会、ジュニアリーダーによるレクリエーション、キャンプファイヤー、二日目はウォークラリー、昼食時の飯盒炊爨ではカレーライスを作りました。天候にも恵まれ、すべてのプログラムを無事に終えることができました。

【第 32 回雪谷地区 9 自治会スポーツまつり】

令和 6 年 10 月 20 日（日）

雪谷地区最大のイベントである「雪谷地区 9 自治会スポーツまつり」が 5 年ぶりに、池雪小学校にて開催されました。自治会・青少対・学校・PTA・消防団から構成される実行委員会が企画し、自由参加であるパン取り競争・人間キャタピラ競争・障害物競走などの競技のほか、自治会対抗競技を 5 種目で行いました。

今年は天候にも恵まれ、大勢のボランティアや地域の方々にご参加いただき、大盛況のイベントとなりました。



【研修部施設見学会】 令和 6 年 11 月 9 日（土）

雪谷青少対研修部主催の施設見学会が開催されました。「大田・品川まちなみガイドの会」の案内による羽田空港第 3 ターミナルのフィールドワークを行い、大田区について改めて考える良い機会となりました。



【第 31 回雪谷地区サッカー大会】

令和 6 年 11 月 23 日（土）

雪谷地区小学校のサッカーチーム（池雪 FC・小池 FC・雪谷 FC）が参加するサッカー大会を開催しました。選手の皆さんの元気いっぱい試合に取り組む姿が印象的で、熱気あふれる素敵な大会になりました。

青少年対策千束地区委員会

■会長挨拶

青少年対策千束地区委員会は、自治会・町会などの各団体から選出された委員、青少年委員・スポーツ推進委員の、総勢 63 名で構成され、各種事業を実施しています。

長年にわたる青少対活動にご理解・ご協力をいただいている地域の皆様、関係者の皆様に感謝を申し上げ、こどもたちが健やかにたくましく育っていける地域づくりを目指して精進して参ります。



青少年対策千束地区委員会
会長 櫻井 汎

■年間活動報告

実施月	活動名	参加人数
4 月	第 53 回千束地区春季少年野球大会	全 13 チーム
5 月	総会 青少対会議 1 回目	
6 月	青少対会議 2 回目	
7 月	青少対会議 3 回目 第 62 回調布地区少年野球大会 洗足池ホタル観賞会	2,524 名
8 月	早起き子ども会 夏休み子ども映画会	406 名 43 名
9 月	第 45 回千束地区秋季少年野球大会 青少対会議 4 回目	全 13 チーム
10 月	青少対会議 5 回目 自然と親しむ会 第 28 回千束地区スポーツ祭り	17 名 574 名
11 月	委員研修講演会	41 名
12 月	手づくり教室	23 名
1 月	青少対会議 6 回目	
2 月	理事会 第 37 回洗足池マラソン大会	298 名
3 月	木工教室 広報誌『千束だより』発行	27 名

■早起き子ども会

8月1日（木）～8月7日（水） 千束八幡神社

8月1日から7日まで、千束八幡神社にて早起き子ども会を実施しました。一週間で延べ406名が参加しました。朝の早い時間からこどもたちが参加し、八幡神社はにぎわっていました。一週間のあいだ早起きして体を動かすことで、夏休みのいいスタートを切ることができたのではないのでしょうか。



■自然と親しむ会

10月20日（日） 観音崎自然博物館・ソレイユの丘



今年度は17名のこどもたちが参加しました。観音崎自然博物館では、様々な展示物を眺めたり、タッチプールでは魚やウニなどの生物と触れ合いました。また、ソレイユの丘ではピザ作りを行い、それぞれこだわってピザの盛り付けをし、美味しいピザが出来上がりました。秋の良い思い出になりました。

■手づくり教室

12月15日（日）千束特別出張所

今年度の手づくり教室には、23名のこどもたちが参加し、きらきらツリーとかわいい帽子作りに挑戦しました。

帽子を作るための毛糸を巻いたり、きらきらツリーのオーナメントを作成したり、大変な部分もありましたが、こどもたちは一生懸命取り組んでいました。ボランティアの中学生たちにも助けをもらいながらひとつひとつ丁寧に作ることができました。



■第37回洗足池マラソン大会

2月16日（日）洗足池周辺



毎年、野球協会主催で行っているマラソン大会です。

大会前になると、洗足池周辺で練習している子どもたくさん見られました。

大会当日は、洗足池公園こども広場をスタートし、学年ごとに決められた回数だけ洗足池周辺を周回します。こどもたちは寒さに負けず、一生懸命ゴールを目指していました。

青少年対策糀谷地区委員会

■会長挨拶

青少年対策糀谷地区委員会は、地域の自治会・町会、小・中学校、PTA、民生委員児童委員協議会、保護司会など各団体から選出された委員と青少年委員、スポーツ推進委員、地域リーダーによる73名の委員で構成されています。

そして、総務部、広報部、青年部、少年部の部会制をとり、委員会内に組織されているジュニアクラブ育成会とも連携して、子どもガーデンパーティー、連合運動会、子どもフェスティバルなど様々な活動を行っています。

実施した事業の一部をご紹介します。



青少年対策糀谷地区委員会
会長 松原 敏彦

■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
6月	令和5・6年度青少年対策糀谷地区委員会総会	49人
6月	糀谷地区小中学校PTA懇談会	25人
6月	青少対糀谷地区だよりNo. 87	
7月	男子ソフトボール春季大会	雨のため中止
8月	第45回夏季野球・ソフトボール大会	240人
10月	第63回糀谷地区連合運動会	1,676人
10月	第39回糀谷地区子どもフェスティバル	374人
11月	男子ソフトボール秋季大会	雨のため中止
11月	インディアカ大会	25人
12月	こどもクリスマス会	67人
1月	第7回糀谷クリーンピック	129人
1月	青少対糀谷地区だよりNo. 88	

■振り返り

◎第63回糀谷地区連合運動会

令和6年10月6日（日）



個人種目の他、糀谷地区10の自治会・町会で競われる町会対抗種目では日頃の練習の成果が発揮され、最後の競技までの町会が優勝するかわからない接戦となり、声援にも熱が入りました。

また、糀谷中学校の生徒による、吹奏楽と軽音楽、和太鼓の発表もありました。

◎第39回糀谷地区子どもフェスティバル

令和6年10月20日（日）

第39回糀谷地区子どもフェスティバルが糀谷文化センターと西糀谷さざんか公園で開催されました。当日は晴天に恵まれ、374名のこどもたちが元気に参加し、楽しい時間を過ごしました。今回で39回を迎えたこのフェスティバルは、次回以降も青少年対策糀谷地区委員会を中心に、地域の方々と連携しながら、より多くのこどもたちが楽しめる催しとして盛り上げていきます。



◎第7回糀谷クリーンピック

令和7年1月19日（日）



糀谷クリーンピックは、糀谷地区美化推進を目指して、3～5名で1チームとし、制限時間内に定められたエリア内で拾ったごみの重さを競い合います。

当日は32チーム、129名の方が参加され、当日拾ったごみの総量はなんと、276.56キログラムにもなりました。

また、開催してほしいとの意見も多く寄せられました。

青少年対策羽田地区委員会

■会長挨拶

コロナ渦の影響は大きく、ボランティア人口は大きく減少しました。若い世代に活動の意義と楽しさを伝えて、青少対は常に新陳代謝をしていかななくてはなりません。ベテラン委員の間では「あ・うん」の呼吸で指示なしでも動けてしまいましたが、これが新任の委員がなじめない原因となっています。きちんとした説明はもちろんですが、委員は世代を超えて開放的な人間関係を心掛け、後輩たちが気持ちよく活動できる環境や雰囲気づくりをしていきましょう。



青少年対策羽田地区委員会
会長 金田 行英

■目標

委員間のコミュニケーションをもっと活発にして、次の世代につなげよう

■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
4月28日	子どもガーデンパーティー萩中会場	約 10,000 人
7月15日	青少年応援プロジェクト@羽田 講演会	64 人
9月22日	委員研修会（施設見学）	23 人
10月1日	広報誌「てんくう」第43号発行	
10月12日	子どもレクリエーション（出張プラネタリウム）	64 人
10月18日	羽田中学校 HUG 体験	88 人
10月20日	第13回ふれあいまつり羽田・萩中	約 5,000 人
11月10日	たこづくり講習会	16 人
12月14日	出雲中学校 HUG 体験	11 人
12月15日	クリスマス会	44 人
令和7年 1月19日	新春親と子のレクリエーション大会	139 人
3月1日	文集「羽田ののぞみ」第55号発行	
3月19日	広報誌「てんくう」第44号発行	
3月31日	A N A ブルーベース見学ツアー	49 人

■振り返り

青少年応援プロジェクト@羽田 講演会 【令和6年7月15日（月）】

発達障がいへの理解を深めることを目的として、東京都との共催で開催しました。当日は、一般社団法人発達障がい支援アドバイザー協会®代表を講師にお招きし、VRを使った自閉症体験や、VR体験をふまえた自閉症のこどもたちへの接し方などの相談会を行いました。



羽田特別出張所 4 階会議室

子どもレクリエーション 【令和6年10月12日（土）】



萩中集会所体育室

ドームを膨らまし、その中に天体の様子を写した「出張プラネタリウム」を小学4～6年生を対象に実施しました。ドームの中とは思えないほどのきれいさと、解説者のユーモアあふれるお話に、こどもたちも大満足でした。

羽田中学校HUG体験 【令和6年10月18日（金）】

羽田中学校の2年生を対象に、地震発生時を想定したHUG体験を実施しました。次々来る避難者に戸惑いながらも、後半になると緊張もほぐれ、スムーズに避難所を運営していました。



羽田中学校ランチルーム

新春親と子のレクリエーション大会 【令和7年1月19日（日）】



多摩川大師橋緑地

小学1～6年生の親子を対象に、たこあげ・昔あそび・ドッチビー・うまい棒食い競走など多種多様な遊びを行いました。前回は雨天の影響で中止になりましたが、今回は晴天に恵まれ、終始笑顔に溢れた大会となりました。

青少年対策六郷地区委員会

■会長挨拶

令和6年度は蒲田地域リーダー講習会の主管地区となり、地域全体で総力をあげて取り組みました。委員間の意思疎通も密になり、今後の六郷青少対の活動にも弾みを持たせることができました。

「六郷地域全体でこどもを育てる」を継続テーマとして元気で楽しく安全な環境作りに邁進して参ります。



青少年対策六郷地区委員会
会長 野村 和子

■目標

「みんなで見守ろう 六郷の子供たち」

■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
5月22日	総会	60名
6月	青少対ニュース107号	6,000部
6月16日	第4回六郷ポッチャ大会	60名
7月21日	第74回社会を明るくする運動六郷地域集会	258名
10月6日	第36回六郷ウォークラリー大会	65名
10月20日	第1回六郷こども運動会	89名
1月23日～ 2月12日	六郷ふれあい展覧会	24名
1月26日	第5回六郷ポッチャ大会	52名
2月9日	第42回六郷卓球大会	38名
3月	青少対ニュース108号	6,000部

青少年対策六郷地区委員会は、地区内の自治会・町会や小・中学校、PTA関係者、青少年委員、スポーツ推進委員、保護司、民生委員児童委員、青少対会長推薦委員の総数 108 名で構成されています。各事業は少年部・青年部・広報部・ジュニアリーダー部の4部に分かれて実施しています。

今年度実施した事業の中からいくつかご紹介します。



第1回六郷こども運動会【少年部】

本大会は新規事業として開催し、宅配物リレー、パン取り競争、バスケットボールフリースロー対決など様々な競技を行いました。異なる小学校のこどもたちでチームを作り、大会が終わる頃にはとても仲が深まっている様子でした。

第36回六郷ウォークラリー大会【青年部】

こどもから大人まで楽しんでいただくことができる本大会ですが、今年度は65名の方にご参加いただきました。大会後のアンケートでは、「今まで知らなかった公園を知ることができた。」「季節を感じる事ができて楽しかった。」などの感想をいただきました。



六郷ふれあい展覧会【広報部】

六郷地区在住・在学の小学生を対象に絵を募集し、六郷地域力推進センター1階ロビーに展示しました。

「自由に絵を描いてみよう！」をテーマに、花火大会や海などを描いた、計24作品！すべて個性あふれる素敵なものでした。

蒲田地域リーダー講習会【ジュニアリーダー部】

第5回講習会では、ゆいっつ・平和島公園キャンプ場でキャンプ宿泊講習を行いました。

1日目は、防災講話やキャンプファイヤー、など充実した時間を過ごしました。2日目の昼食はカレーライスを作りました。みんなで協力し、調理や火起こしをしたことで仲を深めることが出来ました。



青少年対策矢口地区委員会

■会長挨拶

近年の温暖化？ 異常気象？の対応を考え、夏季の暑さ対策のため矢口キャンプ村の移動（出張所⇄平和島）を電車利用から東急路線バスを貸切利用にして無事に終えることができました。

また、小学生低学年以下を対象に「～親子で歩こう～矢口ビジュアルウォークラリー」を行い武蔵新田商店街を楽しく賑やかに歩き、家族の方々がビジュアルクイズに挑戦してくださいました。

これからも安全安心第一で、こどもたちに沢山の体験を通して明るく笑顔あふれる活動に取り組んでまいります。



青少年対策矢口地区委員会
会長 渡邊 義太

■目標

子どもたちの笑顔あふれる明るく楽しい地域

■年間活動報告

月 日	活動名	参加人数
4月28日	第73回大田区子どもガーデンパーティー	約1万名
5月24日	委員総会	48名
7月20日、21日	矢口キャンプ村	72名
7月31日	ユース瓦版164号発行	
8月28日	委員研修会（青少年指導者のための応急手当の基本手順）	33名
10月20日	多摩川清掃工場環境フェア協力参加	約100名
12月1日	～家族で歩こう～ 矢口ビジュアルウォークラリー	54名
12月15日	クリスマスパーティー （リーダー講習会矢口地区受講者対象）	約30名
1月14日	ユース瓦版165号発行	
1月30日	新春地域懇親会	60名
3月1日	矢口ファミリープラザ	389名
3月9日	バスハイク	35名
3月23日	二十一世紀桜まつり協力参加	

■振り返り

大田区子どもガーデンパーティー

【会場】多摩川大橋緑地

第73回大田区子どもガーデンパーティーが多摩川大橋緑地で開催されました。5年ぶりの開催となりましたが、当日は快晴で、多くの方々にご来場いただきました。

来場者の方は、土手すべりやミニ動物園、各団体のイベントコーナーなどをお楽しみいただき、会場は皆さんの笑顔であふれていました。次回も皆様の笑顔に会えることを楽しみにしています。



矢口キャンプ村【会場】平和島公園キャンプ場、 大田区青少年交流センター

夏の恒例行事である矢口キャンプ村を今年も実施し、矢口管内の小学3～6年生72名に参加いただきました。キャンプ場でキャンプファイヤーやカレー作りを行ったり、平和島プールで遊んだり、品川水族館を見学したりと、夏の楽しい思い出をたくさん作ることができました。参加した子からは「みんなで協力しながら楽しく安全に楽しめた」「楽しかったのでまた来年も行きたい」という感想があがりました。



～親子で歩こう～矢口ビジュアルウォークラリー

【会場】武蔵新田商店街

矢口地区にお住まいの、小学二年生以下の親子を対象としたウォークラリーイベントを開催しました。矢口特別出張所～武蔵新田商店街～武蔵新田駅を歩きながら、当日配布した問題用紙の答えを街中にある風景から見つけていくというイベントで、参加者の方々は親子で楽しみながら商店街を散歩していました。親子で歩きながら、地域の魅力を発見できたイベントとなりました。



青少年対策蒲田西地区委員会

■会長挨拶

今年度は、「夏の親子バスハイク」や「各小中学校区子どもまつり」「かまにしふれあい運動会」などすべての事業を実施することができました。また、これらの事業にはジュニアリーダーたちも積極的に関わっており、我々委員も子どもたちの成長を見届けています。



今後も、委員個々の向上心を喚起するとともに、子どもたちの心豊かな体験を実現するために充実した企画を行い、より一層子どもたちの健全育成に努めてまいります。

青少年対策蒲田西地区委員会
会長 角田 政春

■目標

か ま た の ま ち っ こ た く ま し く

■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
7月5日	広報誌「根っ子 48号」発行	
8月4日	夏の親子バスハイク	69人
8月31日	矢口東小学校区子どもまつり	530人
9月29日	道塚小学校区子どもまつり	283人
10月6日	矢口小学校区子どもまつり	445人
10月20日	かまにしふれあい運動会	244人
10月26日	相生小学校区子どもまつり	280人
11月2～3日	OTA ふれあいフェスタ	
11月30日	おなづか小学校区子どもまつり	150人
2月18日	小中学校と自治会・町会長と青少対との懇親会	67人
3月15日	広報誌「根っ子 49号」発行	

■振り返り

★夏の親子バスハイク

○実施日 令和6年8月4日（日）

○事業内容 魚つかみ、BBQ、川遊び

○参加人数 参加者：69名

今年度の夏の親子バスハイクは、神奈川県にある清川リバーランドに行きました。都会ではなかなか体験できない魚のつかみや、自然豊かな場所を楽しみ、夏の思い出になりました。

★かまにしふれあい運動会

地域の方々が参加できる運動会を開催しました。
リレーやパン食い競争など全5種目を実施し、
大人もこどもも終始白熱した運動会となりました。



★OTA ふれあいフェスタ

蒲田西地区委員会としては両日参加し、模擬店を出店しました。
1日目と2日目の模擬店では、コロッケやチュロス、たこ焼きを販売し、
両日ともに大盛況の売り上げを達成しました。



★各小学校区子どもまつり

○相生小学校区子どもまつり

内容：ハロウィンパーティー

○矢口東小学校区子どもまつり

内容：子どもまつり

○矢口小学校区子どもまつり

内容：町会対抗親子運動会

○道塚小学校区子どもまつり

内容：スポーツフェスタ

○おなづか小学校区子どもまつり

内容：ミニ運動会

蒲田西地区では、管内の5つの小学校を会場に、子どもまつりを開催しています。毎年、小学校区ごとにこどもたちを楽しんでもらうために趣向を凝らした行事を企画しています。青少対委員と学校とPTAの方々が協力し合い、地域が一体となる非常に良い機会であり、こどもたちにとっても楽しみながら地域を知る場となっています。



相生小学校区子どもまつり



矢口東小学校区子どもまつり



矢口小学校区子どもまつり

青少年対策蒲田東地区委員会

■会長挨拶

蒲田東地区委員会は、自治会・町会、小・中・高校の学校長やPTA等様々な団体から選出された72名で構成され、こどもたちが楽しめる場の提供に勤しんでいます。

令和6年度の活動として7月には、地域講演会を開催し「社会的養護」について理解を深めることができました。また、蒲田東こどもフェスティバルでは、町会・自治会や他協力団体のご協力もあり、盛大に開催することができました。

1月にはボッチャ交流大会を東蒲小学校の体育館で開催しました。参加されたほとんどの皆様は初めてのボッチャで、最初はとまどいながらの試合でしたが、回数を重ねるごとにレベルの高い試合を繰り広げていました。

3月にはバスハイクがあり、東京都町田市にある施設にお邪魔し、ドラム缶を使ったピザ作りなどを体験しました。

蒲田東地区委員会では、これからも未来へはばたくこどもたちの健全育成のため、委員が心をひとつにして、様々なイベントを企画運営していきます。



青少年対策
蒲田東地区委員会
会長 藤井 ツヤ子

■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
7月28日	地域講演会	300人
10月20日	委員研修	12人
10月26日	花火を楽しむタベ（ジュニアリーダークラブ）	26人
11月17日	蒲田東こどもフェスティバル	2000人
12月15日	クリスマスを楽しむ会（ジュニアリーダークラブ）	15人
1月26日	ボッチャ交流大会	21人
3月2日	バスハイク	34人
3月20日	春のおたのしみ会（ジュニアリーダークラブ）	18人
祭礼時	地域パトロール	

■振り返り

◎地域講演会 令和6年7月28日（日）アプリコ地下1階展示室



地域講演会では一般社団法人たすけあい・一般社団法人ゆめさぼ代表理事の田中れいか講師に「社会的養護」の講演をしていただきました。

講演では、田中講師が経験した養護施設の暮らしや、その後の進路・現在の活動等をお話いただき、社会的養護の重要性について学ぶ機会となりました。

◎蒲田東こどもフェスティバル 令和6年11月17日（日）都立蒲田高校

当日は多くのこども達が来場し、楽しむ姿を見ることができました。体育館では、こども達のダンスや演奏の他、児童生徒の作品展示や手作りコーナー、校庭では町会や地域の団体、企業による模擬店など、地域のみなさんのご協力のもと大盛況のイベントとなりました。



◎ポッチャ交流大会 令和7年1月26日（日） 東蒲小学校



初めてポッチャをするという参加者も多く、みなさん、初戦ではルールがつかめず苦戦している様子でしたが、試合回数を重ねるごとに白熱する戦いを繰り上げていました。

また試合終了後には、「是非、来年も参加したいです！」とうれしい意見をいただくことができました。

◎ジュニアリーダークラブ

春、いちご狩り&BBQ

秋、蒲田小学校で花火を楽しむタベ

冬、クリスマスを楽しむ会

など、年3回のお楽しみ会を実施し、

延べ59名にご参加いただきました。

なお、夏には、防災かまどでカレーを作る予定でしたが、台風の影響で中止となりました。

